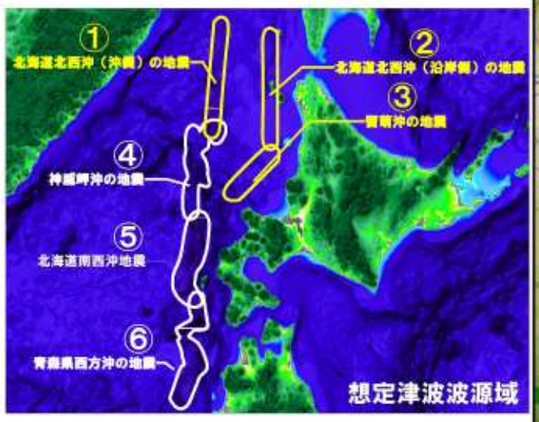
津波浸水予測図　市町村別図　表紙　古平町（全1図面）

※津波浸水予測図の説明

■下記の6つの津波を想定津波とし、市町村ごとに影響の大きい３つの津波を選定し、それぞれの津波ごとに、構造物が「効果あり」・「効果なし」の2パターンのシミュレーションを行ないました。（全６ケース）
■図面には、市町村ごとに全６ケースの最大の浸水範囲、浸水深（注１）を表示しています。
■図面には、代表する地点周辺における３つの想定津波の最大遡上高（注１）と影響開始時間（注２）および陸域被害警戒時間（注２）を表示しています。
■地震の震源が想定より陸地に近かったり、想定を超える津波が来襲するなど、条件が異なる場合には、ここで示した時間より早く津波が来襲したり、遡上高が高くなったり、浸水範囲以外でも浸水する可能性があります。

［シミュレーション条件］
（１）想定津波
①北海道北西沖（沖　側）の地震　②北海道北西沖（沿岸側）の地震
③留萌沖の地震　④神威岬沖の地震
⑤北海道南西沖地震　⑥青森県西方沖の地震
（２）構造物
効果あり：防波堤、海岸堤防、防潮堤、河川堤防などの施設が、全て有効に機能したケース。
効果なし：防波堤、海岸堤防、防潮堤、河川堤防など施設の機能が失われたと想定したケース。
（３）潮位　：朔望平均満潮位　（各月の最高満潮面を平均した潮位）



※注１　最大遡上高と浸水深（図１参照）
最大遡上高は、各地区で津波が到達する最高の標高です。
浸水深は、各地の地表面からの水面の高さです。
※注２　影響開始時間と津波到達時間（図２参照）
影響開始時間は、地震発生から、海岸・海中の人命に影響が出る恐れのある津波による水位変化（初期水位から水位変化が±20cm）が生じるまでの時間です。
陸域被害警戒時間は、陸域で、越波・越流、浸水等の被害が発生する可能性がある時間を示しています。
具体的には、海岸近くにおいて初期水位からの水位上昇が1mに達する地震発生からの時間です。
第１波で水位上昇が１mに達しない場合は、津波第一波のピークが海岸に到達するまでの時間とします。

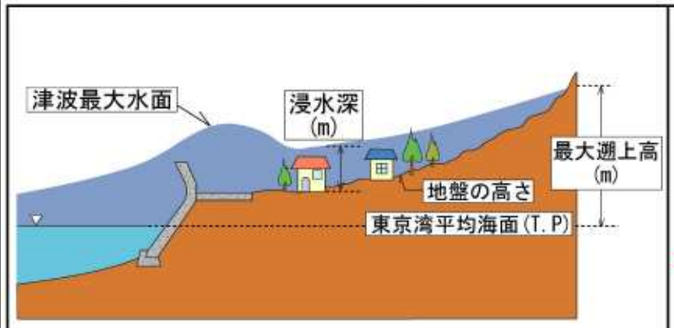


図1　最大遡上高と浸水深

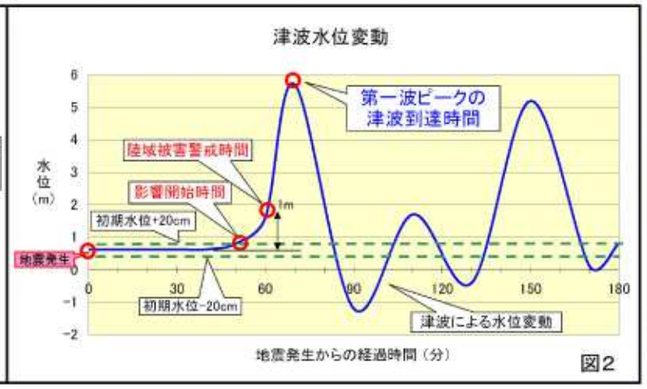
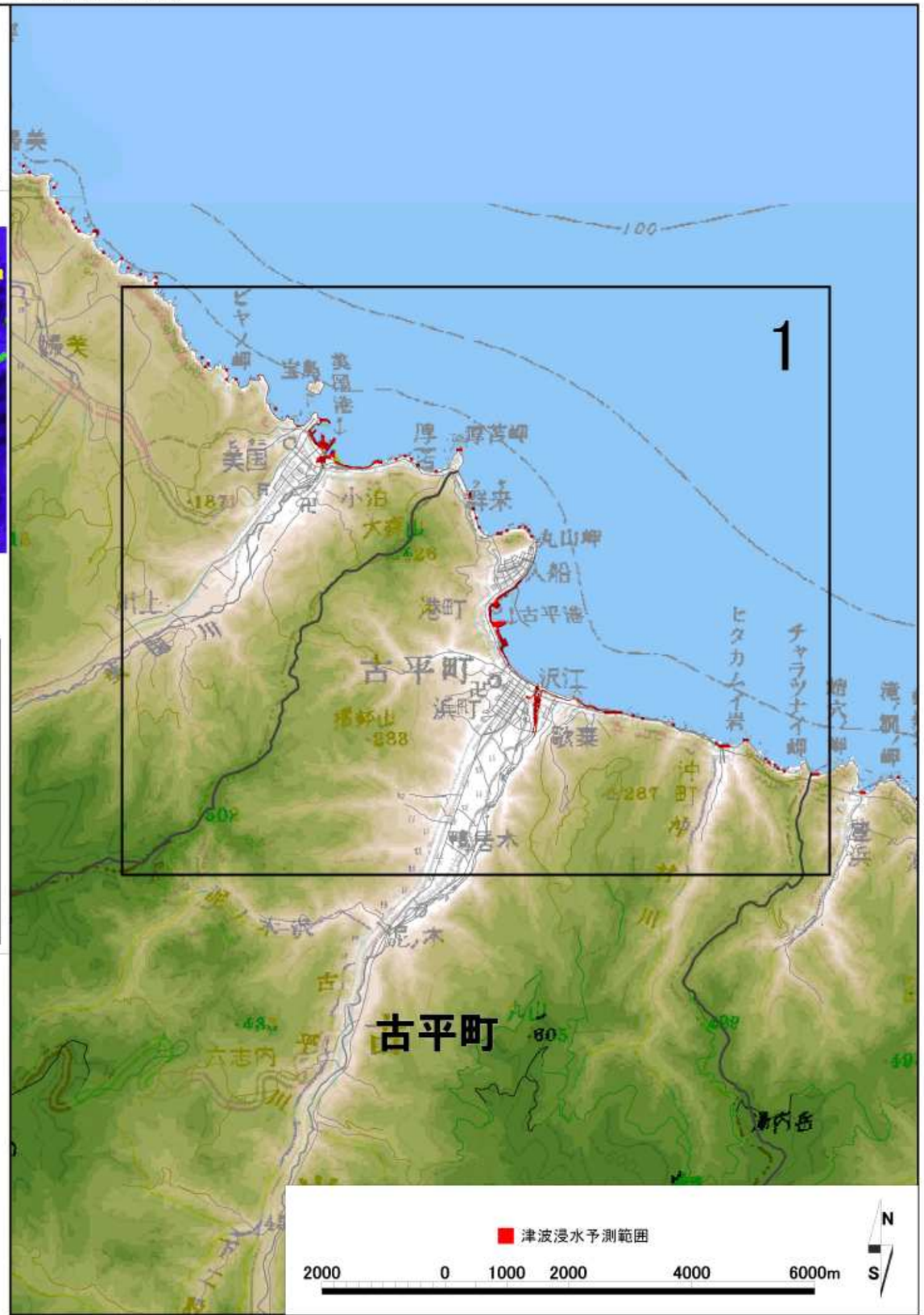


図2

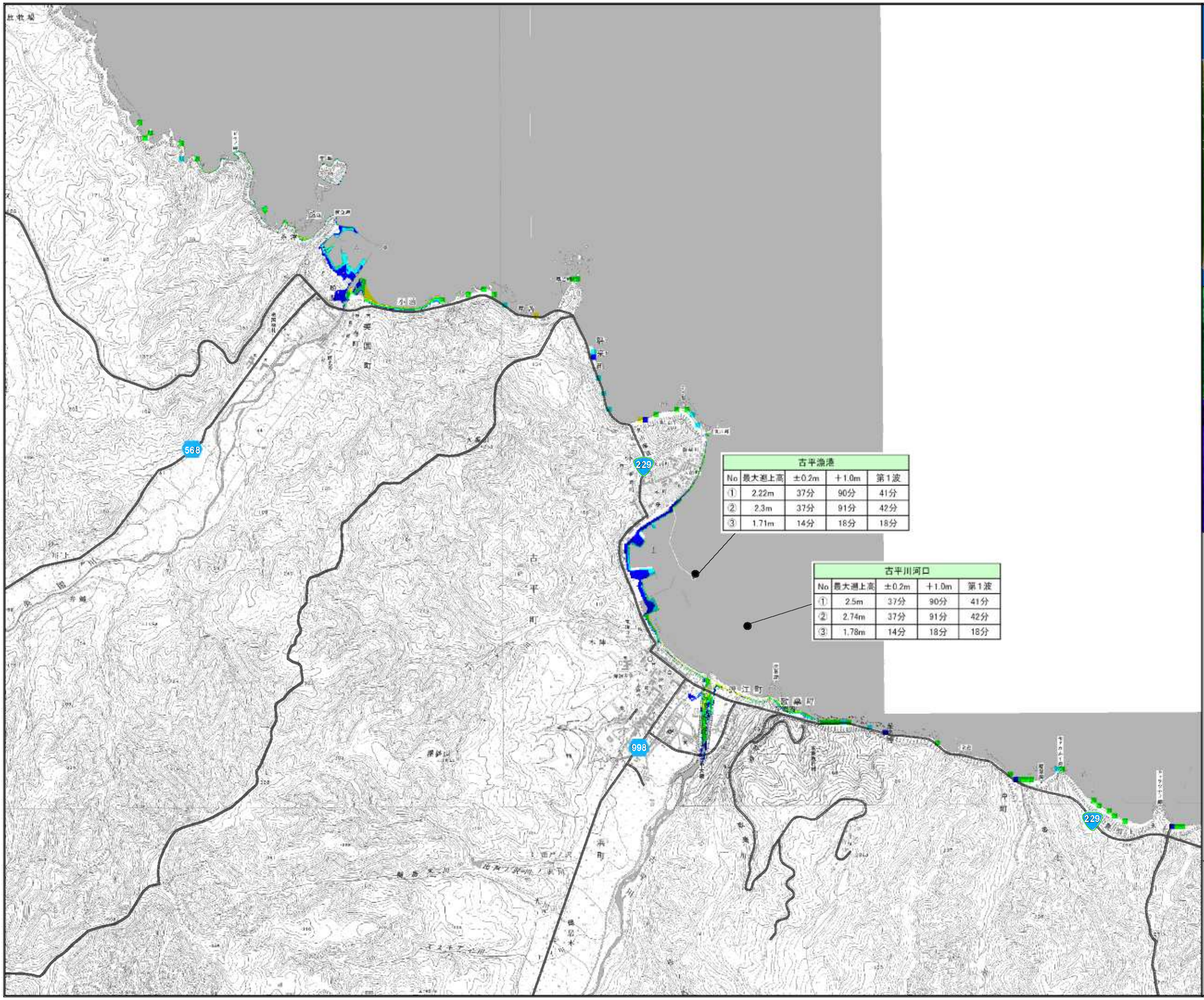
被害想定結果

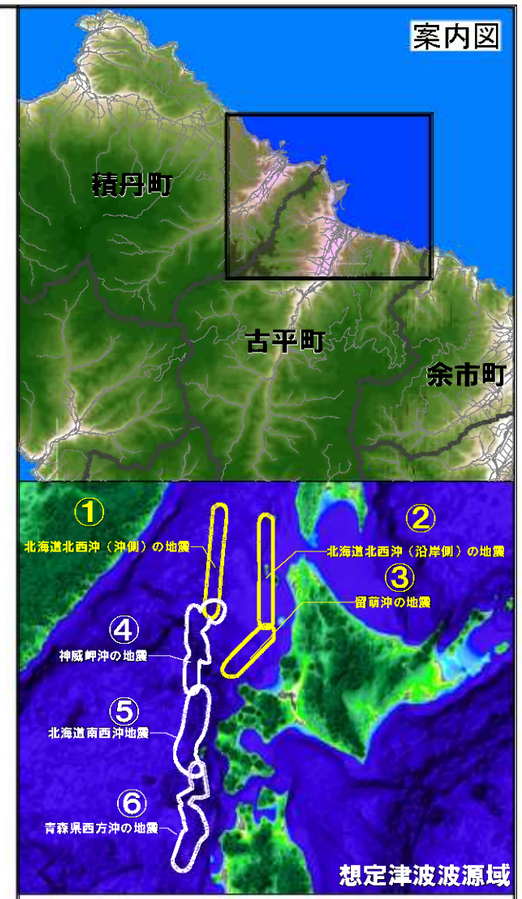
想定項目	想定地震	①北海道北西沖(沖側)		②北海道北西沖(沿岸)		③留萌沖	
	構造物条件	なし	あり	なし	あり	なし	あり
建物被害　（単位：棟）	床上（全壊）	6	3	12	10	0	0
	床上（半壊）	26	27	18	20	21	15
	床上（軽微）	9	8	18	15	17	23
	床下浸水	45	14	49	34	0	0
人的被害（冬季）（単位：人）	死者数	1	1	1	1	2	1
	重傷者数	1	1	1	1	1	0
	中等傷者数	3	3	3	3	2	1
人的被害（夏季）（単位：人）	死者数	10	9	10	9	20	18
	重傷者数	13	13	17	13	9	9
	中等傷者数	31	30	42	31	23	21



「この地図は、国土地理院長の承認を得て、同院発行の数値地図200000（地図画像）を複製したものである。
（承認番号　平21業複、第718号）」

津波浸水予測図　市町村別　古平町(1／1)





凡　例

津波浸水予測範囲
（3つの想定津波の最大浸水深）

- 0.5m未満
- 0.5m以上　1.0m未満
- 1.0m以上　2.0m未満
- 2.0m以上　4.0m未満
- 4.0m以上　6.0m未満
- 6.0m以上

●代表地点周辺で予測される最大遡上高・影響開始時間
陸域被害警戒時間・第1波ピーク到達時間

地点名				
No	最大遡上高（m）	±0.2m	＋1.0m	第1波
想定地震	O.OOm	○○分	○○分	○○分
想定地震	O.OOm	○○分	○○分	○○分
想定地震	O.OOm	○○分	○○分	○○分

±0.2m　：　影響開始時間
＋1.0m　：　陸域被害警戒時間
第1波　：　第1波のピーク時間

N
S

500　0　500　1000　1500m

縮尺　1　：　35,000

「この地図は、国土地理院長の承認を得て、同院発行の数値地図25000（地図画像）を複製したものである。（承認番号　平21業複、第718号）」